

<グループ1>

<p><b>『農業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・付加価値の高い農産物</li><li>・加工に適した農産品</li><li>・農業生産基盤の整備は広い目で見ると、治山治水の根幹の部分だと思う。今後も大切にしていってほしい。役場の役割も大切。今までの自治区の皆さんの努力も感謝している。</li><li>・農協（JA信州諏訪）の会合で、原村の野菜生産が、この地域でトップと初めて知った。→こういう情報を知りたい。発信して誇りにしたい。</li><li>・農産物の出荷先がJAに限られる傾向（自由農園等もあるが）</li><li>・原村の特産品を販売する拠点を作る。</li><li>・遊休農地を活用して高齢者などを活用して、作物・果樹などを栽培し、福祉対策と連動した事業を考える。</li></ul>	<p><b>『観光』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・インバウンド対策</li><li>・長期滞在型</li><li>・ペンションの語源にもどりB&amp;Bにできたら、近くにレストランが必要。</li><li>・観光地というより保養地として。</li><li>・縄文遺跡を生かせないか。</li><li>・若い人（18～25歳）の遊び場がないのでは。</li><li>・宿泊施設、農地（農地ガルテン）体験</li><li>・健康チェック・医療、都市と連携→毎年</li><li>・景観の維持、創造は観光にとってとても大切。乱開発ないように。（廃屋、オオハンゴンソウ、太陽光パネル）</li></ul>	<p><b>『工業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・原山などでも空き家が出てくる。IT関連のSOHO（Small Office, Home Office）の誘致の発信はできるかな？</li><li>・新規起業の推進（現在原村にない分野）</li><li>・食品加工業者の誘致</li><li>・空気の清澄さを生かせるような工業（何かわからない）の誘致</li><li>・自然エネルギーを活用する工業（？）</li></ul>
<p><b>『商業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・他市町での購入を村内に引き戻す</li><li>・日用品はCOOPで間に合うし、茅野、諏訪圏も車で15分～30分</li></ul>	<p><b>『雇用・勤労者対策の推進』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・原村に安心して働ける雇用先があるのか？創出</li><li>・村内企業の求人状況を見られるようにする。（場所、HPなど）</li></ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・村の産業がうまく連携できると良い。個々でがんばっても限界あり。アイデアがほしい。</li><li>・原村全体の高齢化に伴う話題：高齢化に対応して、健康、福祉、スポーツなど産業として注目したい。</li></ul>

<グループ2>

<p><b>『農業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・原村は農業の生産地としてこだわる。</li><li>・原村ブランドとは何かの問い直し。</li><li>・農用地の保全と高度利用の方法として、新作物、薬草等の6次産業化</li><li>・企業型農業を行い、若い労働者を育てる。人を集める。</li><li>・信州、高地の利用野菜</li><li>・冬も生産するシステム作り。(例：ハウスで温泉を使って野菜を作る。バイオエネルギー等による保温等)</li><li>・都内に直売所、朝→夕昼</li><li>・大阪、名古屋直売所、朝→昼</li><li>・セロリに専念</li><li>・魅力ある原村の農業と観光（ペンション、飲食店など）のきめ細かい連携→情報の共有</li></ul>	<p><b>『観光』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・観光、インバウンドを積極的に受け入れないと増加しない。個の充実。</li><li>・ペンションのあり方、世代交替を地域活力</li><li>・海外で売っている観光案内“JAPAN”に原村を入れてもらう。</li><li>・どこに行っても同じ様な観光地が多い。来る人のニーズを聞いて施策をする。こうすれば来るのではという施策では、客が来る時代は終わった。</li><li>・観光農園の応援</li><li>・イベント応援</li><li>・“美しい村”登録して観光のアピール</li><li>・HP製作、チラシづくり</li><li>・文化園をなんとかする</li><li>・自然（森林）・健康を主体とした（重きを置いた）観光創世</li><li>・冬ソリイベント</li><li>・美術館、文化園、ペンション、農場の流れ→周遊</li><li>・前々から提案しているが阿久とか、富士山の見える場所の観光化。</li><li>・観光に不可欠な温泉の見直し</li><li>・ペンションから歩いていける近場の温泉</li></ul>	<p><b>『工業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本へ生産を戻している企業が出て来ているので、原村へ誘致する。</li><li>・工場誘致</li><li>・工業誘致（原村ブランドをおこせるような）</li></ul>
<p><b>『商業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・野菜の原村ブランドを作り売る。</li><li>・農産物の加工も原村内で行う。</li><li>・商業地をさがしている人は多いが立地がない。グリーンライン弘沢富士見線は特にない。利用出来るようにする。</li><li>・地元野菜の販売を地元で行い、“原村へ行けば新鮮な野菜が買える”イメージを作る。</li><li>・3番目の販売所</li></ul>	<p><b>『雇用・勤労者対策の推進』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・企業型農業組織による運営をする。製造会社が農業をしている所が増えている。</li><li>・若い農業従業者を村外から誘致する。→魅力のある食物を作る。</li><li>・今時雇用の充実なんて考えることは古い。まず実習者を増やす。</li><li>・宿泊、シェアハウス</li></ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交通、バス増便</li><li>・選択と集中</li><li>・宣伝</li><li>・銀座のアンテナショップNAGANO徹底利用</li></ul>

<グループ3>

<p><b>『農業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・農協の出品コーナー、自由農園の連携とれないか。(セロリ等) 村外のものが多い。</li><li>・荒廃農地の利用。優良農地の転用は基本的に出来ないが、村で団地計画をして農地付きの土地販売。→建物以外は農地として管理。</li><li>・農業を産業振興の中心として位置づける。</li><li>・地ビール、地酒製造業を興せないか。酒米、大麦の栽培。</li><li>・長野県ワインバレー構想を視野に八ヶ岳ワインPiemont (ピエモン) を構想できないものか。原村を日本のブルゴーニュに。</li><li>・村独自に新規就農者支援策を拡充する。</li><li>・農家への宿泊体験</li><li>・農家が主役となるグリーンツーリズムの推進。農家民宿、農家レストラン、加工、販売。</li><li>・農業をやりたい若い世代に教える人がいない。→家族、親族以外でも現役の農家が誰でも教える。</li><li>・休農地はもったいない! →手のかからない植物を植える。遊べる原っぱに。</li><li>・農業をやりたいIターンを呼び込む!</li><li>・「田んぼのある風景」を残したい!</li><li>・休農地を有効活用して観光資源に! (例: 茅野北山の赤そばみたいな)</li><li>・ハックルベリー(ナス科の実)を作る。ジャム、フランス料理</li><li>・原村は野菜、特にセロリのイメージが強いが、花と野菜、果物が豊富といったイメージにしていけたらいいと思う。</li><li>・六次産業化。生鮮品を加工する。技術、開発、高地野菜の活用。(例: ハーブと塩(セロリ)) 付加価値のある野菜作り。</li><li>・地元のを地元で使う、食べる。(例: 畑で直売!)</li><li>・「富士見のルバーブ」みたいな「原村の〇〇」を作る!</li><li>・料理コンテスト→村の施設で販売(もみの木)</li></ul>	<p><b>『観光』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・集客のある場所同志の連携。農場、自由農園→村の施設アピール</li><li>・阿弥陀岳、権現岳の名称を生かし、山岳信仰の構築を図る。</li><li>・今ある資源を知ってもらう(案内人) →山林、農地。ネットでイベント紹介 →集客。</li><li>・ワインツーリズムの可能性について研究。栽培、醸造、景観、レストラン、宿泊</li><li>・暗さで勝負する星空のブランド化</li><li>・農業を中心としたグリーンツーリズムの構築</li><li>・森林浴をうたう遊歩道の整備</li><li>・住む人が快適で楽しい村→観光にもつながるのでは?</li><li>・住む人が村の魅力に気づく! 再発見できる機会作り</li><li>・「野外フェス」で地元の若い人を盛り上げる! 外からも見に来る!</li><li>・諏訪地域で一体となって観光に力を。</li><li>・ふるさと納税の特典をもっと素敵な魅力的なモノに!</li><li>・連泊や長期滞在型の受け入れ</li><li>・移住用体験</li><li>・スポーツ合宿の増加による宿泊施設の活性化(陸上)</li><li>・豊かな自然の中で水と空気が美味しいといった事をアピール。健康。</li><li>・縄文</li></ul>	<p><b>『工業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・【工業、商業】原村の中の企業や商業を含む内容をもっと住民へアピールできないか。(例: 産業祭り)</li><li>・六市町村との連携。土地の活用</li><li>・電力の安定確保ができる事と、地盤が固い事をアピールし、工業の誘致をする。</li></ul>
<p><b>『商業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・若者を呼ぶ商業施設はもう少ないと難しい(不便)</li><li>・カフェがほしい! ペンション、観光客向け以外も住んでいる人が使う。</li><li>・期間限定でお店を呼ぶ。(例: 3日間だけドンキホーテやIKEAを開く!)</li><li>・お店ができてしまうと景観が悪くなってしまう。</li><li>・インターネット販売サイトの構築。「原天」で原村の特産品を販売。</li></ul>	<p><b>『雇用・勤労者対策の推進』</b></p>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・イベント、サッカー場(J1のサブスタジアム)、講演会場</li><li>・廃屋(空間)を造らない</li></ul>

## <グループ4>

<p><b>『農業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域エネルギーによる暖・冷房コスト削減→利益率の上昇、雇用力の強化、安定経営</li><li>・中山間遊休地の活用→①バイオマス原料②特産品の生産③景観育成</li><li>・原村の地域でそれぞれ作物を作っているが、どういう効果があるかわからないで作っている人が多い。私はエゴマの村を目指したい。村も是非協力してほしい。</li><li>・後継者の育成支援。県普及センターJ Aと村が連携し、相談・指導体制を整える。若者の提案がしやすい場を地域で設ける。</li><li>・原村の農産物の活用。食の健康づくりメニューの開発。成分分析に基づいた商品づくり。</li><li>・農地の遊休化をしない。田んぼは全部作る。もち米、酒米に変えて作っていくことが大事。農業組合組織を作っていく。</li><li>・農業施設へのヒートポンプ支援。省エネ、クリーンエネルギーでの栽培管理。</li><li>・遊休農地、空く予定の農地の活用として、国産の薬草、大豆等の豆類の栽培。体験、加工につなぐ。</li><li>・直売所、加工所（加工→販売）の必要性。村民の提案により、設置されることが重要。村主導でなく村民主導で行う。村は事務・経営指導。</li><li>・地産地消、村内の生産物の地産地消。村内→諏訪圏内へ広げる。</li><li>・北欧、カナダ、北海道的→自然環境を活かした農作物→首都圏のレストランから受注システム→淡路で VILADEST プロバンス野菜</li><li>・①無農薬・無化学肥料による野菜、米、果物の生産を原村の特産にする。②上記の農産物を用いた加工食品のブランド化</li><li>・遊休農地の活用①大豆→豆腐、みそ②そば③小麦→パン、その他</li><li>・農業と観光との連携。体験加工（野菜、豆、花）J A・農家・農場（文化園が連携をとる）</li><li>・農業移住→仕組み、手当て、住宅、育てるサポート</li></ul>	<p><b>『観光』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・縄文文化（阿久遺跡）をアピール。公園のインフラ整備。博物館、縄文イベント。</li><li>・観光施設のリニューアル。客が減っているのではなく魅力が無い。泊まりたい宿、食事、環境。楽しくなる自然をフィールドにしたイベント。</li><li>・体験・滞在型の観光へ。宿の New（コンドミニアム、シェアハウス、クラブハウス）→森林散策のインフラ、Natural IVENT</li><li>・中央高原に展望台を作る。</li><li>・ものづくり（ブランド開発）。農業、商業者との連携したものづくり。まず多様な人材が集まり語る場を。若者、男性、女性、いろいろな人が。</li><li>・コンセプトワークをしっかりとやるべき→お客が何を求めているのか→何を提供するのか</li><li>・これしか出来ない発想からの脱却</li><li>・まず原村に産業を起こす社会資源がどうあるか上げていくことが大事だ。</li><li>・イベント。年2回のクラフト市を村としてバックアップする。原村市（夏→高原朝市、冬→星空市、春→サクラ市、秋→美術館とタイアップ）</li><li>・森林ウォーク、ランニング＋スウィーツのイベント。原村の野菜（無農薬）を素材としたスウィーツのブランド化。</li><li>・星をテーマとした村づくりの強化。（若い人がデートできる環境）星まつり、星空の映画祭、朝市などのイベントと、宿泊施設が連携した朝～夜まで楽しめるプログラム。</li><li>・自然のそうじ！エコライン、ズームライン、ハチマキ道路、森林道のそうじ！</li><li>・ハヶ岳観光圏、諏訪広域との連携。宿泊施設を利用しての体験プログラムを作成し、季節性、地域性での違いを持たせる。</li></ul>	<p><b>『工業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・脱下請け→新規事業開発への支援</li><li>・県、東京事務所を通して原村にも工場を誘致してもらいたい。2工場くらいあれば良いのではないかな。</li><li>・中部・関東・上越から中間地点の立地を生かした企業、流通センター。Net Reserch、Web Office center</li></ul>
<p><b>『商業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・商店街エリアを作る→ハートマップ→Welcome Center</li><li>・地域にとって必要なものの提供→何が必要とされているのか</li><li>・他県、他国が欲しいと思う魅力あるものを育成→情報発信、外貨を得る（域外）</li></ul>	<p><b>『雇用・勤労者対策の推進』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・雇用、中小・零細が1社1人ずつ、採用を増やせるように支援、育てる。起業を支援する。</li><li>・障がい者の雇用の促進。あるものさがしで雇用されること。地域社会の一員であるというつながりを持つ。</li></ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・循環型地域エネルギー“はらむらモデル”の創出と、これに「農業」「中山間遊休地」「副産物～商品」「観光」「雇用」「住環境改善」「工業」「地産地消」をポジショニングし、強い地域力をつくる。</li><li>・地域エネルギーは新エネルギー（バイオマス（熱）、太陽熱、地中熱、バイオマス（発電））、省エネルギー（必要熱の減量、断熱強化、新しいエネルギーを創るのと同じ位有効）</li><li>・【全般】起業支援＋育成→100億の会社を1つ（又は誘致）より1億の会社を100育てる。</li><li>・新エネルギー、光→集光→発電、ゴミ焼却。1000万～2000万プラント木内氏（佐久在住）</li><li>・市民農園又都会の学校に呼びかけ、子供達の体験学習を呼びかける。</li><li>・移住（子育て世代）へのアピール</li><li>・デュアルライフとしてのインフラ</li><li>・移住者＋地元住民交流イベント</li><li>・移住地メリット、入村金</li><li>・Ginza Nagano 利用したPR。村の食と健康、環境のPR。</li><li>・田園景観の美はPR。田、せぎ、森、ハヶ岳。</li><li>・循環を教育に。生産→生ごみ堆肥→土</li></ul>

<グループ5>

<p><b>『農業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・遊休農地の計画的（強制的）な利用計画</li><li>・農地面積の減少を止める。土地の利用を農業者（転用利用者でなく）農用地の利用地確定する。</li><li>・農業施設、農用地・農水路・農道の保全を原村全地区実行</li><li>・原村で一番多い（出荷量）セロリ、カリフラに続く農産物の開発。高齢者にも生産できる農作物の開発、推進。</li><li>・特長ある農産物を（例：富士見町のルバーブのようなもの）</li><li>・原村に農業担当部署に農業専門職をおく（職員では難）</li><li>・農業生産組織を集落部組織（北部、中部、西部、中東部）又は原村会社組織で。</li></ul>	<p><b>『観光』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・村はペンションを今後どう扱っていくのか。</li><li>・産業として“観光”は安易な方法では？</li><li>・観光は現在の観光関係者が考え計画する事。将来等を推測し無理のない施策を観光業者の判断で。</li></ul>	<p><b>『工業』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・優良企業立地促進、企業の誘致社の意見を募る。高速インターから最も近い位置でないと。（企業側の意見）</li><li>・長野県は農業県よりも工業立県だと言う資料があるが。</li></ul>
<p><b>『商業』</b></p>	<p><b>『雇用・勤労者対策の推進』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・住みやすい原村</li></ul>	<p>その他</p>